

04 東京慈恵会医科大学

解説

(1)  $f(x) = x^3 - 3b^2x + 2a(4a^2 - 3b^2) = (x + 2a)(x^2 - 2ax + 4a^2 - 3b^2)$

$x^2 - 2ax + 4a^2 - 3b^2 = 0$  を解くと  $x = a \pm \sqrt{a^2 - (4a^2 - 3b^2)} = a \pm \sqrt{3(a^2 - b^2)}$   $i$

よって、A の座標は  $(-2a, 0)$

B の座標は  $(a, \sqrt{3(a^2 - b^2)})$

(2) M の座標は  $(-\frac{a}{2}, \frac{\sqrt{3(a^2 - b^2)}}{2})$

$f'(x) = 3x^2 - 3b^2$  であるから、 $f'(x) = 0$  の解は  $x = \pm b$  であり、F, F' の座標は  $(b, 0), (-b, 0)$  である。

したがって

$$\begin{aligned} FM + F'M &= \sqrt{\left(b + \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{3(a^2 - b^2)}{4}} + \sqrt{\left(b - \frac{a}{2}\right)^2 + \frac{3(a^2 - b^2)}{4}} \\ &= \sqrt{\frac{4b^2 + 4ab + a^2 + 3a^2 - 3b^2}{4}} + \sqrt{\frac{4b^2 - 4ab + a^2 + 3a^2 - 3b^2}{4}} \\ &= \sqrt{\left(\frac{2a + b}{2}\right)^2} + \sqrt{\left(\frac{2a - b}{2}\right)^2} = \frac{2a + b}{2} + \frac{2a - b}{2} = 2a \end{aligned}$$

(3) F, F' を焦点とし、M を通る楕円を C とする。

(2) から、楕円 C 上の点から 2 つの焦点までの距離の和は  $2a$  である。したがって、

楕円 C の方程式は  $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{a^2 - b^2} = 1$

この楕円の点  $(x_0, y_0)$  における接線の方程式は

$$\frac{x_0x}{a^2} + \frac{y_0y}{a^2 - b^2} = 1$$

よって、楕円 C の点 M における接線の方程式は

$$-\frac{x}{2a} + \frac{\sqrt{3}y}{2\sqrt{a^2 - b^2}} = 1 \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

① は点 A  $(-2a, 0)$ , B  $(a, \sqrt{3(a^2 - b^2)})$  を通るから、直線 AB に他ならない。

講評

方程式の解と関数の関係。2次曲線の知識も混じっているので、多少解きにくいイメージになるかもしれないが、きちんと押えていけば基本的な問題。確実に取れるようにしておきたい。